

# ちとせ観光通信

～千歳一遇～ せんざいいちぐう

発行 一般社団法人 千歳観光連盟

066-0019 北海道千歳市流通3丁目4-1

電話 0123(24)8818

FAX 0123(24)8819

2022年9月28日発行 【再刊第3号】

## 今号の話題

○支笏湖ブルーキャンプ開催

湖畔でエコと音楽の祭典

○セガサミーカップで

eスポーツをPR

○ヒメマス釣果が不調

原因調査へ 来期に期待も

## 初秋の支笏湖で音楽とエコ

### 支笏湖ブルーキャンプを開催

音楽やアクティビティを通して自然環境の大切さや支笏湖の魅力を感じてもらおう「支笏湖ブルーキャンプ」が9月10、11日、美笛キャンプ場で開催されました。特設ライブでのステージのほか、大自然の中でのヨガやサウナ体験、水生昆虫採しなどの企画を通して、参加者は支笏湖を満喫していました。



特設ステージではライブが会場を盛り上げた

主催は千歳市。エイベックス・エンタテインメントと連盟が制作に携わりました。同キャンプ場を指定管理者として管理運営するのも観光連盟です。

多くの来場者がキャンプサイトにテントを張り、美しい自然を満喫しながら催しを楽しみました。10日のステージでは、お笑い芸人でソロキャンプの様子を動画配信することで人気のヒロシさん、「香水」が大ヒットした瑛人さん、札幌市出身のシンガーソングライターのRihwaさん、上野大樹さんらが出演し、来場者を盛り上げました。

会場内では危険木を使ったスプーンやフォーク作り、ロープワーク講習、美笛川などでの生き物採しなど、自然に親しむ企画が目白押しで開かれました。



美笛川では水生昆虫を採し催しも

湖畔には中で薪を燃やして温めるテントサウナが設けられ、汗だくの体験者が支笏湖を水風呂にして体を冷やし、「ととのう」ことも体験。11日には千歳出身で元ミスユニバースジャパン2018北海道代表の豊澤瞳さんが講師となり、大自然のさわやかな空気の中で朝ヨガを行ない、心身のバランスを整える取り組みもありました。来場者はさまざま企画を楽しみながら、身近な大自然の大切さ、支笏湖の雄大な美しさを感じていました。

## eスポーツ体験が白熱 セガサミーカップ会場で連盟主催

長嶋茂雄インヴィテーショナルセガサミーカップゴルフトーナメントが8月18～21日、ザ・ノースカントリーゴルフクラブで開かれ、観光連盟は同会場内で、ふよふよeスポーツ「プロチャレンジちとせトーナメント」を開催しました。

eスポーツは単なるゲームの枠を超え、教育や福祉、地域社会との関わり、地域活性化などへの可能性があります。観光連盟は昨年eスポーツに関するセミナーやミニイベントを開催。今年も多くの人に知ってもらいたいと、イベントを開きました。

日本eスポーツ連合公認プロのdelta選手、live選手を迎え、千歳、恵庭から出場する8人がトーナメント戦を展開しました。



eスポーツのトーナメント戦は白熱の展開

トーナメント戦では、日本航空学園日本航空高等学校の根本優太さん（15）が優勝し、トロフィーと副賞（千歳産品詰め合わせ3万円相当）を手にしました。根本さんはdelta選手とも対戦し、3戦中1勝をもち取ったもののプロの技の前に惜敗。アトラクションとして両プロが対戦して熱戦を繰り広げ、プロのテクニクが観衆を驚かせました。

ゴルフ大会の本戦では、岩田寛選手が優勝し、賞金2400万円を獲得しました。

## インディアン水車まつり開催



名物のサケ鍋を求める市民

第43回インディアン水車まつりが9月18、19日、道の駅サーモンパーク千歳イベント広場で開かれました。訪れた多くの人が名物のサケ鍋やステイジイベントを楽しみました。千歳の秋の風物詩、インディアン水車と秋の味覚を楽しむイベント。同実行委主催で観光連盟も実行委の一員として後援。名物のサケ鍋は販売開始から長い列ができるほどの人気です。ステージではエレクトーンや太鼓、アイヌ古式舞踊などが披露され来場者の注目を集めていました。

## 日本カナダ学会を本道初開催

ANAホテルを会場に、研究者ら集う



全国の研究者が集ったカナダ学会

北海道では初開催となる、日本カナダ学会第47回年次研究大会が9月16～18日、ANAクラウンプラザホテルで開かれました。同国の歴史や文化、社会を対象とする研究者が所属する学会で、大会には観光連盟も協賛しました。

期間中は出席者が同国の歴史や社会について研究成果を発表。千歳高校国際教養科の生徒たちも課題探求学習の成果を発表したほか、千歳アイヌ協会会長の中村吉雄氏も「アイヌ民族と私」の演題で講演しました。千歳の歴史を知る現地視察も行なわれました。



## 千歳神社秋季例大祭

参道にぎわう 感染対策も励行

千歳神社の秋季例大祭が9月1～3日、同神社の境内で開かれました。3年ぶりの開催に、出店がずらりと並んだ参道は多くの人で賑わいました。

参道にはたこ焼きや綿あめ、金魚すくいなど定番の出店が並び、家族連れや浴衣姿のカップルなどが祭の風情を楽しむ姿。千歳巴会

の神輿渡御では市内中心部を神輿が練り歩き、宮入する頃には祭の熱気は最高潮に達しました。



参道は多くの市民で賑わっていた

## 市民納涼盆踊り大会

千歳市民夏まつりが閉幕



夏まつりを締めくくった盆踊り大会

千歳市民納涼盆踊り大会が8月19日、グリーンベルトおまつり広場で行なわれました。11チーム686人が出場し、中心部で踊りを披露しました。

観光連盟が協賛し、約1か月続いた千歳市民夏まつりのフィナーレ。市役所や自衛隊、企業などから参加チームがあり、市内中心部を踊りで盛り上げました。観光連盟会長の小田賢一も審査員として参加。市長賞には第1高射特科群、観光連盟会長賞には航空自衛隊千歳基地が選ばれました。

## ヒメマス釣果振るわず

えです。

過去10年の平均釣果は10万600匹。今年は4分の1程度まで落ち込んだことになりました。魚体は、例年釣果の中心を占める3年魚は15～17匹、4年魚は22～25匹と小ぶりです。5年魚は38～40匹と大きめでした。

不漁の原因については、さまざま原因が考えられます。支笏湖漁協が孵化増殖事業のため放流している稚魚の生存確率が良くないということ、ブラウントラウトや

サクラマスなど、ヒメマスの稚魚をえさとして補食してしまう魚の存在などが考えられますが、確かなことは分かっていません。

支笏湖漁協の佐藤晴一事務局長は「水温やプランクトンの量も極端に変わった訳ではない。今後原因を探りたい」と話し、「地元の人々の経験則では、今年は3年魚がある程度釣れたので、来年は改善の兆しが見られるのではないかと。次期は釣れてほしい」と来シーズンの釣果を期待します。



今年は釣果が振るわなかったヒメマス

## 支笏湖夏まつり開催

大道芸や演奏が盛り上げる



雨に見舞われたものの、出演者が太鼓や楽器の演奏などを披露。

支笏湖夏まつりが8月20日、支笏湖温泉の湖畔園地で開かれました。支笏湖まつり実行委の主催で、千歳観光連盟も後援・協力しています。あいにくの雨でしたが、湖畔園地の会場では、市内の太鼓2団体が勇壮な演奏を響かせたほか、少年少女による空手の演武、ジャグリングなどのパフォーマンスが訪れた人を楽しませました。商店街各所では大道芸人が妙技を披露するなど、夏の支笏湖を盛り上げていました。

## イベント情報

▼空からつなぐ（千歳～宮崎）  
おいしいリゾート うまいっしょ  
フェア（9月30日～10月2日、宮崎市・フェニックスシーガイアリゾート）千歳産のジンギスカンや餃子、菓子やジェラード、野菜などをそろえます。千歳の観光PRコーナーも。（株）AIRDOと（株）ソラシドエアが10月に持ち株会社を設立するのを機に千歳宮崎両市の空路での一層の交流と千歳の魅力の発信を目的で、観光連盟が主催となり、千歳市、（株）AIRDO、（株）ソラシドエアの後援と千歳市公設地方卸売市場、フェニックスリゾート（株）、（公）宮崎市観光協会の協力のもと、実施します。



▼北海道森林スポーツフェスタ  
イン支笏湖（10月10日、メイン会場は支笏湖ビジターセンター展望デッキ）同フェスタ実行委主催、観光連盟など後援。申込は締め切り済み。当日は紅葉クラフト、リーフアートなどの体験企画も。

▼支笏湖紅葉まつり（10月16日、湖畔園地で開催）支笏湖まつり実行委主催。紅葉を眺めながら秋の味覚を楽しむ恒例行事。例年はヒメマスやキノコの入った「秋の味覚汁」や地元産野菜の販売、ステージイベントが行ないます。観光連盟も実行委の一員として協力。

## 編集後記

夕方、落陽で染まる空がきれいで中央、泉郷まで車を走らせました。空を見ると一面のうろこ雲。いわし雲やさば雲ともいい、いずれも俳句では秋の季語です。農地とうろこ雲が赤く染まった美しさは、言葉では表せないほどでした。

夏の観光シーズンは一段落。千歳は秋です。農地が多いだけあり食も魅力のひとつ。紅葉も楽しみです。今年も自然がくれた美味しさと美しさが、千歳を訪れた人に感動を与えてくれるでしょう。

朝晩には冷え込みを感じる日が多くなりました。季節の変わり目です。皆さんも健康には気を付けて、秋の行楽シーズンをお迎えください。（ひ）